

会計・ファイナンス コース

**会計情報を読み解く力、
金融や保険の理解力・洞察力を磨く。**

会計学総論や株式会社社会計などの会計学関連科目、金融論や経営財務論などの金融関連科目を学修します。さらに、会計情報を読み解く基礎から応用に及ぶ能力と、金融や保険に関する深い理解力と洞察力を身につけます。進路としては、金融機関、企業における経理部門・財務部門、会計ファイナンスの能力を活かせる官公庁（国税庁）などがあげられます。

！ 会計・ファイナンスコースのポイント

01 会計とファイナンスの 専門領域を広く学ぶ

会計領域では、会計学の基礎である複式簿記から、財務会計・管理会計・会計監査等の会計学の幅広い領域を主に企業を対象として段階的かつ網羅的に学ぶことができます。また、ファイナンス領域では、金融論、保険論、財政学など、金融全般の広い領域を政府の政策から企業金融に至るまで、マクロとミクロの視点から学んでいきます。

02 金融の仕組みを考える

「金融サービス」はお金の貸し借りだけではありません。金融機関は企業に資金を貸すことを通じて、審査や監視を行い、財務面でのアドバイスを行い、取引先を紹介するなど企業に寄り添うことで、やっとな資金を回収できます。また、コーポレートファイナンス(企業金融)においては、投資、資金調達、M&A(合併・買収)、リスク管理などを金融機関や金融市場を活用して行い、企業価値を最大化し、様々なステークホルダーに利益を還元する仕組みがわかります。

想定される進路先

- ・金融機関
- ・財務部門
- ・国税庁など官公庁
- ・金融機関の調査分析部門
- etc.

※ 高等学校教諭1種免許状(商業)

03 会計情報の機能と 役割を理解する

会計は複式簿記の記録を基に作成される会計情報の機能と役割、そこから企業の経営状況を判断することの意味を知ることが重要です。このような会計情報を、企業内部で経営者が経営管理と戦略にどう利用しているのか、企業外部では企業の経済活動をどう読み取り、投資の意思決定に役立てていくか、その仕組みを理解していきます。

ゼミナール紹介。ゼミの魅力や雰囲気をご紹介します！

【安井ゼミナール】

安井 敏晃教授



経済学部で「ほけん」について 考える？

安井ゼミでは「ほけん」について学んでいます。「ほけん」というと「保健体育」の「ほけん」を思い浮かべる方が多いのですが、同じ「ほけん」でも、「自動車保険」や「生命保険」の方の保険を扱っています。保険なら自分には関係ないと思う方もいるかもしれませんが、実は私たちの生活を陰で支えてくれる、とても役に立つ制度なのです。なんだか地味な分野に思えるかもしれませんが、勉強してみると面白い分野です。

【朴(恩)ゼミナール】

朴 恩芝教授



企業の社会的責任(CSR)-社会の 一員としての企業と会計を考える！

朴(恩)研究室の専門は財務会計です。企業が提供した経済活動の成果と将来の予測を外部の視点で分析します。その際、投資意思決定に有用な情報の提供が重要です。今日、投資に有用な情報には、従来の財務情報だけでなく、環境や社会情報といったCSR情報も考慮されています。ゼミではこうした動きに会計がどうかかわるかについて勉強します。社会の一員としての企業のあり方が問われる時代に、会計もその重要性が増しているからです。

【藤原ゼミナール】

藤原 敦志准教授



企業の倒産と再生から 金融のあり方を考える

研究テーマは「倒産」です。倒産イコール会社をたたむことと解されがちですが、このゼミでは、自力で信用を取り戻せず、事業を継続できなくなった企業を「倒産した企業」ととらえ、金融機関や司法の力を借りながら、どうすれば再生できるかということを研究しています。学生は意外とポジティブな性格の人が多く、ゼミの雰囲気も和気あいあいとしていて、地元の高校に向向いて、倒産についての授業を行ったりもしています。

